

科学者会議(JSA)宮崎支部 **読書会のご案内**

科学者会議宮崎支部の読書会は、学会誌「日本の科学者」に掲載された論文をテーマに、自由な意見交換の場として開かれます。どなたでもご参加できますので、是非、ご来場ください。

東日本大震災を引き起こした巨大地震の余震と言われる大きな地震が、つい数日前に発生している。この巨大地震と同じくマグニチュード9クラスの地震の発生が、駿河湾から日向灘にかけての南海トラフで予想されている。これによる強震動や津波による大きな被害が想定される。古本論文では、更に高度成長期に作られ経年劣化が進むインフラストラクチャの耐震化と劣化を防ぐ努力が訴えられている。

この論文を問題提起として、宮崎県沿岸部へも甚大な被害をもたらすとされる南海トラフ巨大地震の影響について、自由に意見を交換しませんか！

日時：2015年3月9日(月) 17:30～19:00

場所：宮崎大学工学部中会議室(工学部A棟2階, A-207)

今回のテーマ：学会誌「日本の科学者」10月号, 2013年

“特集：南海トラフの巨大地震にどう備えるか”の掲載論文

駿河・南海トラフの巨大地震に備える

著者：古本 宗充 氏 (名古屋大学大学院環境学研究科)

チューター：山北 聡 氏 (宮崎大学教育文化学部)

この論文をお持ちの方は、当日ご持参下さい。また、お持ちでない方は、次のJSA宮崎支部のURLからダウンロードして下さい。

http://mjsa.saloon.jp/docs/dokusyo/d20150309_j4810.pdf

連絡先：科学者会議宮崎支部事務局

(木下, jisa-miyazaki@mjsa.saloon.jp)